

わたしからあなたへ



No.29

平成28年1月 発行

社会福祉法人 相双記念会
障害者支援施設
ふきのとう苑
福島県相馬市富沢字松道19
TEL 0244-35-3090
FAX 0244-35-1171
MAIL:info@fukinotouen.jp
編集責任者 広報委員会

ふきのとう



この文字は
・ かわいがる
・ 情けを掛ける
・ いたつくしむ
などの意を有す

慈心



ウキウッキーな年になりますように

『新規事業のスタートとともに』

社会福祉法人 相双記念会
理事長 宮田 弘幸

明けましておめでとうございます。二〇一六年（平成二十八年）を迎え、暖冬の中新年の喜びを感じているところです。旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り、心より感謝申し上げますとともに、本年も何卒宜しくお願いいたします。

さて、当法人におきましてはもう一つ新たなスタートを迎えました。共同生活援助「グループホームふきのとう」の開所です。地域・圏域より求められていた施設であり、障害者の夜間受け入れのできる福祉資源として、近隣地域はもとより、県内外から希望される利用者を受け入れることができます。

具体的に申しますと、東日本大震災後に避難を余儀なくされた障害者の皆様の中で、地元相双地区へ帰りたいと希望されている方のために、その生活の場所となるように環境の整備をいたしました。また、相馬市近隣の市町村（宮城県を含めて）にお住いの障害者の方へも是非ご利用いただけるよう準備をしました。

このグループホームの開所に当たっては、施設内覧会並びに開所式典を新年一月に予定しており、助成金援助をいただきました清水基金様、施設修繕の建築関係の業者様をはじめ、許認可をいただきました福島県、相馬市の各行政機関、福祉施設関係者及び関係諸団体の皆様衷心より感謝申し上げます。

併せて、当法人経営の障害者支援施設『ふきのとう苑』及び相談支援事業所『すずらん』との二事業所とも連携を図りながら、三障害者の利用者の中でも受け入れられるよう今後とも努力して参ります。



次に、本年は「社会福祉法等の一部を改正する法律案」（いわゆる社会福祉法人制度改革案）が昨年に引き続き国において審議され、可決になれば改正案の重要項目の一つになっている「地域における公益的な取り組みを実施する責務」が四月から施行される予定となっております。

これは、地域における公益的な取り組みや地域公益事業を行うことであり、社会福祉法人が制度の狭間にある様々な福祉ニーズを主体的に充足することにより、地域社会に貢献することが責務化されるということです。前段で紹介しました「グループホーム」は正に、その地域貢献の一環としてスタートしております。今後も地域の福祉資源のニーズに応えていくよう努力を惜しまないつもりです。

最後に、法人経営の基本理念である「いつも元気な風が吹いている施設の具現化をはかるため、私たちは絶えず尊重、追求、共生の精神をもって、利用者の皆様に接します。」の実現に向けて役員一丸となって努めてまいりますので、今後ともご協力お願い申し上げます。

平成二十八年、今

施設長 木口 幸雄



平成二十八年初春のお慶びを申し上げます。昨年中は利用者様、ご家族の皆様、地域の皆様、当施設関係の皆様方におかれましては、施設運営にご理解とご協力をいただきました。誠にありがとうございます。心より感謝申し上げますとともに、今年におきましても昨年同様、宜しくお願い致します。

また、本年三月十一日は、東日本大震災から五年目を迎えることとなります。この五年間で培ってきたこととして、地域社会との融合がいかに大切なものであったかと改めて考

えさせられております。行政機関及び医療機関、他の諸団体の皆様への感謝にたえません。特に地元の相馬市富沢行政区の皆様とは、区民の一世帯として入会し、諸行事や消防避難訓練、施設ボランティア等への様々なご協力をお願い感謝しております。今後とも、障害者の皆様と地域の中で共生していただけたら幸いです。

さて、本年はさらに、『障害者差別解消法』が四月一日に施行されることになっていきます。すべての国民が障害の有無によって分け隔てされることの無いように、相互に人格と個性を尊重し合いながら、共存する社会の実現につながることを目的としています。

この法律には二つのポイントがあり、「不当な差別的取り扱いの禁止」「合理的配慮の不提供の禁止」となっています。当施設においては、権利擁護委員会の中で、「虐待防止」「差別解消」「個人情報保護」の三点について、毎月委員会の協議において、また、具体的には職員会議後の勉強会の中で、利用者に対する接遇の研修を行っています。また、年に二回、職員に対して「虐待・差別等に関するチェックシート」を配布し、権利擁護に関する意識の高揚を図っています。

次に、昨年十二月十四日に当法人が経営する第三の事業所「共同生活援助グループホームふきのとう」の開所を迎えたことは、中・長期計画に位置付けていたものが実現に至り、大変喜ばしいこととなりました。この施設は、震災後に県内外に避難された障害者の帰還受入先として、更には近隣の地域・圏域にお住いの障害者の受入先として、福祉資源の環境を整えることで開設いたしました。ご利用希望の方は、当施設でも連絡をお受けいたします。宜しく申し上げます。

結びに、平成二十八年のふきのとう苑の目標としましては、これまでの反省に基づき、

第一に、業務における「PDCA」サイクルの実践の反省及び評価、改善を定期的に行い、より良いサービスの充実に努めます。具体的には、毎年行っている「利用者満足度調査」をもとに、利用者様のニーズを理解し、その人らしい生活ができるよう支援します。

第二に、OJT・Off-JT、SDSの職員研修を定期的に位置づけ、サービスの質の向上につながるよう、職員一人ひとりが目的意識を持った処遇対応ができるように努めます。具体的には、毎月の職員会議に全体研修や勉強会、外部研修伝達会等を設け、情報の共通理解と共有ができるようにします。

第三に、職員のメンタルケアと腰痛予防のために、職員会議や定期健診の機会をとらえて自覚・意識調査等を行います。その後、嘱託医師の協力を仰ぎ、健康で安心できる職場環境の充実に努めます。

本年も、どうぞ宜しくお願いいたします。

東西南北

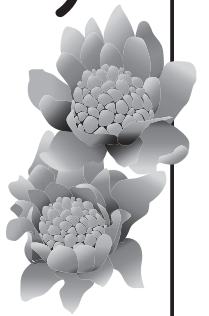
家族会

会長 市澤 廣子

新年おめでとうございます。ふきのとう苑も開設から十年の歳月を過ぎ、基礎を強固にする時期から、より一層、苑を充実させる時代になってまいりましたでしょうか。苑の利用者お一人一人が明るく平穩に、のびのびと生活できることを願って、家族後援会も、微力ながら手伝いをしてまいりたいと考えています。職員の皆様方、ご家族の皆様方、多くの皆様方、本年もよろしく宜しくお願いいたします。

平成27年12月14日開所

グループホームふきのとう



事業内容について

満十八歳〜六十五歳未満、概ね障害区分3以下で自立歩行の可能な精神、知的、身体障害をお持ちの方が、できるところは自分のできないところは助けられながら、がんばりすぎずに、仲間と共に、心身共に健康で快適な自分の人生を楽しむマイホームを提供いたします。

共同生活の場で、集団生活のルールを守り、定時に起床、食事を取り、日中活動に出かけ、掃除や洗濯し、就寝するという生活リズムを身に着け、自分の時間も楽しむ自立生活を目指し、よりよい生活を選ぶ支援をします。

人生は長いようで短い。いい日も、悪い日もあります。自分の生き方を探しながら「色々あるけど、今日もまあまあよかった。お疲れさん」と眠りにつく。そんな一日、一日を大切に、自分のペースで過ごせるようなお手伝いができればいいなと思います。

グループホームふきのとうのご案内



居室(体験時のみベッド付)



トイレ・洗面台



共有部屋リビング



浴室



管理棟(食堂)



A棟(B、C棟もあります)

- 一、対象者 (身体・知的・精神) 障がい者
- 二、定員 10名(体験利用も可)
- 三、サービス
 - 日常生活の援助
 - 健康衛生面の援助
 - 社会活動の援助

職員紹介



佐藤 大貴
(生活支援員)



寺島 克弥
(サビ管兼生活支援員)



佐藤 智夫
(世話人)



大畑みどり
(世話人)



お問い合わせ先

〒373-2521 福島県相馬市赤木字一里壇277-6
TEL(兼FAX):(0244)32-0767
E-mail:grouphomefuki@ace.ocn.ne.jp





家族の方と一緒に
皆さんいい顔してますねえ

Xmas

歌手
立花英樹様

歌手
六本木ヒロシ様

私も参加したんです
Xmas楽しいです♡

ふきのとう J soul
ブラザーズ いえ〜い

新職員の挨拶



介護部 佐藤 悦子

く思いました。当苑の理念に「ふきのとう苑にはいつも元気な風が吹いています」とあり理念に基づき、利用者様と共に笑顔で楽しく毎日を過ごしていきたいと思ひます。宜しくお願いいたします。

昨年十月より通所勤務によりお世話になつております。利用者様から元気を頂き4か月となり、又、名前を覚えて貰い嬉し前を覚えて貰い嬉し



介護部 佐藤ひとみ

が勉強になります。先輩職員の方々のご指導を頂きながら、利用者様が日々安全で楽しく過ごして頂ける様に努力していきたいと思ひます。まだまだ、至らない所が沢山ありますが、これからも宜しくお願いいたします。

昨年の十月二十六日に入職し、早くも三ヶ月が経ちました。訪問ヘルパーの経験があります。障害者支援施設での勤務は初めての事なので毎日



介護部 佐藤 愛

月。この頃、少しは慣れた感じもするのですが、やはりやるほど難しい仕事だと思ひます。何かと不慣れで、ご迷惑をおかけする点も多いと思ひますが、これからも宜しくお願いいたします。

私の名前は佐藤愛と申します。昨年十月から通所で働いてます。この仕事は初めてなので不安もありました。



介護部 山本 祥吾

十月の末から、働いている、二階男性職員で番太い山本と申します。介護職は初めてで、不慣れな点が多く、先輩方にも利用者様方にもお手数おかけします。

働き始め



介護部 山田キヌエ

利用者の笑顔や先輩職員の方々のご指導を頂きながら、少しずつですが業務にも慣れてきました。今後も先輩職員の方々のご指導を頂きながら介護技術のスキルアップを図り成長したいと考えています。まだまだ至らない所が沢山ありますが、これからも宜しくお願いいたします。

昨年の十二月一日に入社いたしました。山田キヌエです。以前は特別老人ホームに勤務しており、障害者福祉施設で働くのは初めてで不安と戸惑いがありました。



介護部 郡 昭廣

前の職場で学んできたことを生かし少しでも貢献できたいと思ひます。至らないところもありますが、これからは宜しくお願いいたします。

ふきのとう苑に再就職して4か月が経ちました。以前と変わっているところも沢山ありますが、少しずつ仕事に慣れてきたかと思ひます。



職員安住さんと二彦様との対談を紹介いたします



紺野さん、こんにちはふきのとう苑で一番楽しいことは何ですか？

うん、うん、カラオケだ！

この間の日曜日のカラオケ活動に参加して歌いましたか？

「北酒場」歌ったよお。(笑顔)

歌手ではだれが好きですか？

北島三郎と都はるみだお

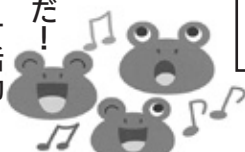
二番目に楽しいことは何ですか？

お風呂だお。

あーそつえば、良くお風呂で歌ってますよね

お風呂に入つて歌うと気持ちいいんだお。(笑顔)

それでは、ぜひこれからもお風呂で歌つて聞かせて下さいね。今日はありがとうございました。



みなさんこんにちは、通所です 今年もよろしくお願ひします



これからもたくさん
おいしいもの
つくります(๑^∩^)

豚汁づくり

おいしくな〜れ



ぜ〜んぶ食べたよ!



さつまいも デザート作り

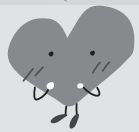


こねこねしてます



おいしいね〜

医務室
から



皆さま、こんにちは。

今回は、マイコプラズマ肺炎のことにつ
いて少し書きます。

症状としては、細菌より小さくウイル
スより大きく細菌にもウイルスにもない
性質をもっています。主に肺炎は気道に
感染します。

①のどの痛み

②鼻水・鼻つまり

③37度程度の微熱から39度以上の高熱

④咳、痰のからむ咳

(解熱しても1ヶ月近く続く症状)

⑤呼吸がしにくい呼吸困難

乳幼児に感染した場合は風邪程度で
済みますが、学童期頃になると肺炎を
起こします。皆さまも感染した場合肺
炎になります。

季節では秋冬に多いのが特徴です。
咳や唾液、痰で人にうつる飛沫感染で
す。

予防としては、微熱、病院での血液検
査で診断がつきますので、ぜひ早期発
見・治療をお願いいたします。



こんにちは 給食室です



あけまして
おめでとうござ
います。本年も
よろしくお願ひ
致します。施設
では十二月十九
日(土)にクリスマ

ス会が開催されました。ボランティアの方
による出し物や職員によるダンスなど、
大変な盛り上がりを見せました。給食で
はクリスマスの行事食メニューを提供し、
とても好評でした。

☆クリスマス会メニュー☆

・握りずし

・すまし汁

・唐揚げ

・エビフライ

・ポテトサラダ

・みかん

・ケーキ

Merry Christmas!



お誕生日おめでとうございます

11月生まれ

10月生まれ

12月生まれ

1月生まれ



あとがき
暖冬と言われていますがやっぱり寒いこの時期身にしみる。早く春よ来い!!
(なみ)

ボランティア ありがとうございます



川柳

日が伸びて得した気分いい予感
ふきのとう
ちよびり苦味
春(親?)の愛
(船山 孝二)